

2023 年度京都府理学療法士会定時総会議事録

日時 2024 年 6 月 23 日（日）14：45～16：15

場所 京都大学医学部人間健康科学科 杉浦ホール 対面開催（ZOOM による傍聴）

対面参加 麻田、苅谷、関、堀江、江平、田後、建内、安彦、井口、井上、梅田、
佐藤、田村、鶴谷、南角、西村、阪東、石井、市橋、一般会員

Web 参加 一般会員

司会 苅谷

議長 大島

書記 太田垣

苅谷事務局長より開会宣言

* 京都府理学療法士会 麻田会長より挨拶

* 参議院議員の田中先生よりご挨拶

* 松井市長より祝電披露

● 並河茂先生へ感謝状を贈呈

● 2023年度士会会長賞表彰

南角表彰審査委員長より2023年度会長賞受賞者7名を発表

丸橋 佑一郎先生（新人教育部 宇治リハビリテーション病院）

光成 敏宏先生（保険部 介護老人保健施設 萌木の村）

奥山 紘平先生（職能部 佛教大学）

森田 浩史先生（特定非営利活動法人 通いの家おはな）

麻田会長より表彰状を授与

長田 知也先生（保険部 介護老人保健施設 萌木の村）

西村 彩香先生（症例発表部 京都市立病院）

小寺 翔馬先生（蘇生会総合病院）

後日表彰状郵送

● 議長、書記の選出

議長選出：大島洋平（京都大学医学部附属病院）

書記選出：太田垣あゆみ（自宅）

● 定足数確認

総会員数 2,885名 （総会員数の過半数：1,443名）

出席者 40名

委任状 1,816名 計1,856名

以上の通り総会設立の必要数を満たす

議長の成立宣言により議事に入る

【審議事項】

●第一号議案 2023年度事業報告審議

会長総括

1. 新型コロナウイルス感染症も 5 類に移行し、対面研修や会議も規制のない環境となったが、多くの会員施設では業務中のマスク着用が義務化、面会等も規制が継続させる状況であった。京都府理学療法士会では、対面と Web 利用を事業内容や地域性等の状況に応じて事業を進めた。
2. 継続的な問題として、休会・体会社数の増加傾向は変わらず。入会者数割合は全国でも上位な反面、休・退会者が多いことを強く受け止め、会員になることの必要性を感じる会であること、入会のメリットを多く感じることの出来る改善に取り組む。
3. 【事務局】
昨年同様、事務局負担の増加を感じている。公的な事業や他団体との共同事業が増えれば増えるほど、事務局負担が増加する。事務員を 1 名増員し 3 名体制で対応、今後の方向性と事務量の整理を踏まえた取り組みが必要と感じている。
4. 【社会局】
活動範囲が広がり、公共性の強い事業に取り組めた。会員向け、関連団体との協調や他団体・府民向けなど理学療法士が活躍する場面共有から周知まで更に取り組みを充実していく。JRAT と協調した能登半島地震への派遣は大きな経験となった。
5. 【地域局】
11 支部がそれぞれの特徴を持って活動を進められた 1 年となった。支部により参加層に違いはあったが、地域密着活動は大きな一歩を踏み出したと考える。各局にまたがる重要な部門として今後の活動を大いに期待する。
6. 【学術局】
新生涯学習システム稼働により、研修スタイルも変化する中、参加者の増減に苦慮することがあった。京都府理学療法士会会員が求める事業の在り方を更に考えたものが必要であり、独自性の発揮や思考の転換が今後必要であると思う。
7. 【京都府リハビリテーション三療法士会協議会】
事業としては、北部地域における研修及び情報交換の機会が多く企画され充実した活動になっている。次年度に向けて、京都府助成事業に三療法士会独自で事業申請できたことは大きな一歩であった。
8. 【委員会】
エスカレーターマナーアップ推進委員会では、乗り入れる私鉄全てと事業提携が進んだ大きな 1 年であった。京都市営地下鉄とも継続的な取り組みが広がりを見せ、近畿ブロックを引っ張る事業へと成長でき、6 府県でポスター共有も決定した。「条例化」することを励みに取り組みを進めていく。

各局より事業報告

- *事務局：(苅谷事務局長より)総務部、財務部、広報部 各部の報告
- *社会局：(江平社会局長より)保険部、職能部、公益事業部、災害対策部の報告
- *学術局：(建内学術局長より)生涯学習部、新人教育部、症例発表部、北部研修部、会誌編集部、学会部、その他(理学療法士技術講習会等)の報告
- *地域局：(田後地域局長より)各支部での活動についての報告
- *委員会報告：(苅谷事務局長より)表彰審査委員会、選挙管理委員会、認知症対策委員会、地域包括ケア委員会、スポーツ活動支援委員会、エスカレーターマナーアップ推進委員会、55 周年記念事業委員会、糖尿病対策推進委員会の報告

●第二号議案 2023年度決算報告

南角財務担当理事より、資料 P. 18 を参照にて報告、
荏谷事務局長より P. 20 を参照にて特別会計報告

【第一号・第二号審議事項について挙手にて賛成多数 承認】

●第三号議案 京都府理学療法士会役員の選出について

木村智子選挙管理委員長（京都橘大学）より説明
令和6・7年度役員選挙については、会長・理事・監事とも定数以内のため、無投票当選
監事について、規定により理事会より京丹後市立弥栄病院 梅田匡純先生を推薦

【第三号議案について挙手にて賛成多数 承認】

【報告事項】

●第一号報告 監査報告

石井監事より監査報告（P21参照）

●第二号報告 2024年度事業計画報告

麻田会長よりパワーポイント提示にて報告

1. 2024年度 組織図

2. 本年度事業概要

＊スポーツ活動支援委員会がスポーツ活動支援部に昇格

＊学術局活動の充実：会員・社会ニーズに沿った事業考察による会員へのメリットの充実をはかる

＊並河茂先生からのご寄付は並河基金として新人理学療法士育成に関わる事業に活用

3. 地域局事業の発展と他事業との関係

4. エスカレーターマナーアップ推進

エスカレーターの安全な利用促進に関する条例化を目指す

5. 2025年度重要事業の準備

＊近畿理学療法学会大会 2026年 1月25日（日）

＊創立55周年記念式典 2025年11月 9日（日）

6. 理学療法士連盟との強い連携

●第三号報告 2024年度予算案報告

南角財務理事より P18予算案の説明

各報告事項について質問・意見はなし

●議長団解散

議長は以上をもって議事を終了した旨を述べ、16：15に閉会した。

堀江副会長より 閉会の挨拶